心理学基礎文献研究Ⅰ

科目ナンバリング　PSY-201
必修　　2単位

元永　拓郎

1. 授業の概要（ねらい）

心の健康が保てなくなる時、それは心の悩みとして把握されたり、異常心理として認識されたりする。それらは臨床心理学によって学問の対象となっているが、その他精神医学、精神保健学、福祉学等のさまざまな学問領域で、実践と研究が積み重ねられている。

心理学基礎演習Ⅰでは、それらの心の健康が不調となった状態が、学問によってどのように把握され研究が進んでいるかについて、テーマ別に検討を行う。特に精神疾患として把握される、統合失調症、うつ病等の気分障害、ストレス障害、人格障害、依存や嗜癖、認知症といった、代表的な精神疾患について検討を行い、充分な理解を深めることとする。

また精神疾患のみでは把握することの難しい心理現象として、児童虐待、発達障害、いじめ、不登校、ひきこもり、非行、ゲーム依存、共依存、性的違和、自殺といったことも取り上げる。これらの学習において、各自が文献を収集しよく読み込んでおく必要がある。事前に学習したことをもとにディスカッションを行う。

また心理学基礎演習Ⅱでは、この演習Ⅰに続いて、心の健康の不調に対する支援をテーマに、その基本的な理解を深めるための学習を行う。精神分析や来談者中心療法、認知行動療法といった臨床心理学な支援理論に関して、充分な学びを行う。支援においては、臨床心理学のみならず医学や福祉学など多学問が協働して多職種でのチーム対応が基本となる。その現状についても、本演習で取り扱う予定である。

2. 授業の到達目標

1）自ら必要な文献を収集し、内容を整理し、わかりやすくプレゼンテーションすることができる
2）心の健康の不調や精神疾患について概説できる
3）心の健康の不調や精神疾患ついて、その概念の有効性や限界について、自らの意見を表明できる

3. 成績評価の方法および基準

授業内発表50%、小テスト30%　レポート20%
到達目標に達しているかを基準とする

4. 教科書・参考文献

教科書
下山晴彦　よくわかる臨床心理学　ミネルヴァ書房
参考文献
加藤進昌・神庭重信・笠井清登編集　TEXT精神医学（改訂4版）　南山堂

5. 準備学修の内容

テキストの次回授業範囲について充分に読み込み、授業で提示した学習課題に目を通し、自分自身の意見を記述して授業に臨む。授業内で発表され議論したことをふまえ、小テストにおいて自分の考えをまとめる。またレポートとして提出する。

6. その他履修上の注意事項

自ら文献を収集し、それを充分に読み込み、わかりやすい発表資料を用意し、授業内でわかりやすく発表し、それをもとに議論を深め、それらをふまえて学んだことを整理するという学習となる。臨床心理学や公認心理師の活動に関心のある人には、ぜひとも積極的に臨んで多くの学びを得てほしい。

この科目履修に際して、「臨床心理学概論」「心理学的支援法（心理療法概論）」「心理アセスメント（臨床アセスメント法）」の履修は重要となる。

7. 授業内容

【第1回】　・ガイダンス、テーマの分担
【第2回】　・心の健康と不調に関する概要
【第3回】　・精神障害に関する歴史
【第4回】　・認知症についてその概要と支援の方法
【第5回】　・発表とディスカッション
【第6回】　・発表とディスカッション
【第7回】　・発表とディスカッション
【第8回】　・発表とディスカッション
【第9回】　・発表とディスカッション
【第10回】　・発表とディスカッション
【第11回】　・発表とディスカッション
【第12回】　・発表とディスカッション
【第13回】　・精神障害者の長期入院とインクルージョン
【第14回】　・発達障害をめぐる概念の変遷
【第15回】　・まとめと展望